

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 茨城県 】

学校名【 下妻市立大形小学校 】

| | |
|--------------------|---|
| 1 実践テーマ | II・V |
| 2 実施対象者 (学年・人数) | ①おもてなし講座 全校児童 164名 保護者20名 ②タグラグビー教室 3年～6年 130名 |
| 3 展開の形式 | (1) 学校における活動 ①教科・行事名(特別活動・おもてなし講座) ②教科・行事名(体育・タグラグビー教室) |
| 4 目標 (ねらい) | ①「グローバルマナー」や「おもてなしの心」の大切さについて学ぶことを通して、ボランティア精神の醸成を図る。 ②タグラグビーの練習や試合を通して、スポーツを楽しむ心を育成するとともに、「ノーサイドの精神」から相手を思いやる心を培う。 |
| 5 取組内容 | <p>①おもてなし講座 演題「グローバルマナーとおもてなしの心」 講師：筑波大学客員教授 江上 いずみ 先生(元CA)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、江上いずみ先生の著書「心づかいの極意」を各学級で活用して、「おもてなしの心」に対する児童の興味・関心を高めた。 ・講演では、CAのみなさんが日頃行っている握手やノックの仕方などを具体的に学ぶことができた。 ・来年度のオリンピック・パラリンピックを見据えて、グローバルマナーの視点で外国人との接し方を教えていただいた。 ・江上先生の英語でのあいさつは、飛行機に乗っているような臨場感があった。 ・講演が終わって体育館を出る児童を江上先生が見送るという「おもてなし」に児童は感動していた。 <div style="text-align: right;">  </div> |

| | |
|-----------------------------|--|
| | <p>②タグラグビー教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として、ラグビー発祥の歴史やルール等について、スライドを見ながら講演を聴いた。 ・ラグビーワールドカップ 2019 での日本の活躍を話題にすることで、児童のラグビーへの興味・感心を高めた。 ・TRFC（つくばラグビーフットボールクラブ）でコーチをされている人見隆先生、茗溪学園ラグビー部出身で全国大会出場経験もある中川喜夫先生を講師として招いた。 ・1つの学年を6チームに編制（1チーム5または6名）することで、試合中全児童がボールに触れることができるよう配慮した。 ・ラグビーボールとタグを購入し、事後の学習においても、体育の時間だけでなく、児童が昼休み等で自由に活用できるようにした。 <div data-bbox="475 696 1337 909"> </div> |
| <p>6 主な成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし講座を受けた後、あいさつする際に立ち止まって、分離礼（言葉を発した後に礼をする）をする児童が増えた。 ・各教室に置いてある江上いずみ先生の著書「心づかいの極意」を読書の時間に積極的に読む児童が増えた。 ・タグラグビー教室を通して、「ノーサイドの精神」を学んだ。相手を思いやり、折り合いをつけたりする場面が多く見られるようになった。 ・以前より児童のスポーツに対する興味・関心が高まり、来年度に開かれる東京オリンピック・パラリンピックを話題にすることが多くなった。 ・読書の時間、オリンピック・パラリンピックやスポーツに関連する本を読む児童が増えた。 |
| <p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・単発な行事（講演・実技のみ）にしなため、講師の本を紹介するなど、事前の学習を充実させた。 ・講演や実技だけで終わらないよう、振り返りの時間を必ず設けた。学んだことや考えたことを書かせたり、発表させたりすることで、今後の生活に活かせるようにした。 |
| <p>8 主な課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事前、事後の学習を充実させる時間の確保が難しい。 ・単発な行事で終わらせないために、今後の教育活動につなげたい。 |
| <p>9 来年度以降の実施予定</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めるとともに、アスリートから努力の大切さ等を学ばせたい。 ・タグラグビーのボールや道具を購入できたため、来年度以降も計画的にタグラグビーを実施していく。 |